

ENGAWA



●表紙の言葉

8月10日、浜松市立飯田小学校の教諭を対象に、株式会社杏林堂薬局による出前講座「学校食物アレルギー研修会」が開催されました。杏林堂薬局の薬剤師、青野さんが講師を務め、食物アレルギーやアナフィラキシー症状への対応について研修を行いました。緊急時の対応案などの意見が交わされ、子どもの命を預かる教諭のスキルアップにつながっている様子でした。

このように近年、企業が専門性を活かして独自の社会貢献活動を行なうケースや、地域のNPOなどと連携する取組みが進んでいます。

CONTENTS

- | | |
|-----|---------------------------|
| 2-5 | 特集
地域に光を！企業のCSR |
| 6 | 新しいCSR始まっています！ |
| 7 | 活動報告、HOTな情報 |
| 8 | 講座情報&助成金情報、物販コーナー紹介 |

 **企業の社会的責任**
(CSR=Corporate Social Responsibility)

「グローバル化が進む中、企業が『持続的な発展』をするためには、利潤の極大化を求める「経済性」だけでなく、社会の一員として環境や社会との共生調和を目指す「社会性」「環境重視」という3つの側面が重要であるという考え方が広まっている。」引用:『企業の社会的責任—背景と取組み—』経済産業課

近年日本では、企業の社会的貢献活動として使われることが多くなっており、企業のCSR活動が注目されている。

特集 地域に光を！企業のCSR



さらなる環境保全を！ NPO法人設立でCSRを実働化

中村建設 株式会社

中村建設(株)は、「環境のリーディングカンパニーを目指す」というスローガンのもと、2005年に「NPO法人 地域環境と自然を愛する会」を設立しました。地域の環境をさらに良くしたい！という想いから始まった、様々な活動について聞きました。

CSRを始めたきっかけについて

CSR活動の原点は、絶滅危惧種「コアジサシ」の保護活動です。「コアジサシ」は毎年4月頃、日本に飛来してくる絶滅危惧種の渡り鳥で、1997年、中村建設の現場に繁殖地が発見されました。静岡県渡り鳥研究会から「工事を少し待ってほしい」と要請をうけて、コアジサシの保護に協力したことがきっかけです。

これまで、天竜川の中州にできたコアジサシの繁殖地を守るために、冠水を防ぐ造成や、車両の乗り入れを防止する工事等を実施し、2004年には活動が評価され、環境省から自然環境長賞を受賞しました。近年では、繁殖地への人の立ち入りを制限するため、巣の周りを囲い、注意喚起の看板を立てるなどの支援をしています。

活動について教えてください

2005年にNPO法人を設立し、コアジサシの保護に加え、地域の清掃活動、遊休水田の活用を行い、また中村建設として学校と連携して学校林の整備などを行っています。

清掃活動は、2006年から年に3回全社員で近隣道路(柳通り)で行っています。また年に1回、国道1号線沿いの清掃活動も行っており、周辺住民や事務所・店舗の方、学校などに声をかけ、毎年述べ200名ほどが参加しています。2011年からは、遊休水田について

地元の方に相談され、NPOで3ヵ所を借りてお米作りを行っています。

なぜNPO法人を設立したのですか

建設業は森林を伐採したり、ゴルフ場を開発したり、どちらかと言えば環境破壊の産業です。「少しでも社会貢献になることなら、積極的に協力しよう」という社風があり、コアジサシの保護だけでなく、より広く、多くの人に参加してもらうため、2005年に『NPO法人地域環境と自然を愛する会』を設立しました。NPO法人を立ち上げたことで、活動の範囲を広げ、社会貢献活動を加速させることができました。

CSRに取り組む理由は何ですか

会社にとって大事なことは、不祥事や製品欠陥、クレームなどへの防止としてコンプライアンスの順守のみならず、環境活動など社会貢献を通じて地域との融和、顧客へのアピールを図るなどの努力が必要と考えます。

地域の自然や環境を壊することは容易ですが、壊れた自然を再生するのは非常に困難なことです。そのため、コアジサシの営巣保護や、清掃活動、遊休水田の活用、あるいは森林整備支援を実施し、継続されることで、地域の生物多様性維持、環境美化に貢献ていきたいと考えます。

この先も我々の活動で、地域の価値を維持し、さらに高めていくことは、会社の発展にも繋がると思い活動しています。

●課題はですか

NPO法人として活動を行う上で、「時間と人」の課題があります。仕事の傍らとなると、どうしても時間に限りがあります。まだまだ地域の問題は多く存在し、管理を必要としている遊休水田が他にもあったり、耕作放棄地が増えたりと、これからさらに活動を広げる必要があると感じています。

しかし、「時間と人」を考えると、現在行っている「田んぼ」の管理だけでも大変なのが現状で、課題としている点であります。

●今後の展望について教えてください

今後は、それぞれの地域で同じような活動をしている団体と連携し、さらに地域の人との交流を深めながら、活動を行っていきたいと考えています。

そして、NPO活動は継続していくことが大事だと思います。企業の発展と、地域の自然環境が相互にとって良い方向に進むよう、これからも現活動を継続し、さらなる活動を模索していきます。

活動風景



絶滅危惧種「コアジサシ」



柳通り清掃活動



遊休水田の活用



学校林の整備

●取材協力

中村建設 株式会社（本社： 浜松市中区中沢町）

2005年から「環境のリーディングカンパニーを目指す」というスローガンを掲げ、地球環境に貢献する企業へと、意識を持って行動してきました。限りなく無駄をつくらないゼロエミッション型の建設方法や、資材のリサイクルなどエネルギー消費を極力抑える方向へとシフトしています。



(左)特定非営利活動法人
地域環境と自然を愛する会
理事長 平井美次さん
(右)品質環境グループ
喜井隆利さん



5年後、10年後を見据えて 地域密着型のCSRの取り組み

株式会社 杏林堂薬局

西は湖西市から、東は富士市まで静岡県内に76店舗を展開し、地域に根ざしたドラッグストアとして、「業績」よりも「社会的な使命」を重視。薬局ならではの、地域密着型のCSRについて聞きました。

● CSRの活動内容について教えてください

5年前の2011年から、人々が健康な時期からサポートをすることで、病気の一次予防につなげようと取り組んでいます。その一環で、管理栄養士による出前講座を実施し、店舗に来ていただいたお客様だけでなく、交通手段が無く店舗に来られないような方の健康サポートも行っています。

講座の内容は、健康セミナーやお料理教室、スポーツに関するセミナーなどで、各地の公民館や協働センター、福祉施設、学校などを会場に開催しています。出前講座は地域貢献の一環として行っているため、お料理教室の材料費をいただく以外、対企業でなければ、講師料、交通費等はいただいているません。昨年度の講座やイベントの実施回数は100回を超え、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層にご参加いただきました。

● 活動の良さとは

活動を行っていて良かったなと思う瞬間は、人のためになったことが分かった時です。骨密度の無料測定会を行うことが多いのですが、骨密度は婦人科や整形外科に行かないと測れなかったり、有料だったりするため、普段は測らない方が多いです。

杏林堂の測定会で自分の骨密度が減っていることを知り、病院へ行って薬を処方された方からは、「ひどくなる前に気付くことができて良かったよ、ありがとう」と言わされました。活動を通して、私たちの取り組みが実際にその人のためになったことが分かるので嬉しいです。

● CSRに取り組む理由は何ですか

この先に何があっても、しっかりとこれまでの経営を維持できるような形を目指して、地域密着型のCSRに取り組んでいます。

高齢化が進む国の大問題として「医療費の増加」があります。薬局なので、処方箋をもってきてくれるお客様がいる、つまり「医療費がかさむほど、儲かるのではないか」というイメージを持つ方がいるかもしれません。しかし、今後、国が補助する医療費が削減された場合、「もう薬は飲みません」と、来店してもらえないなる可能性があります。

CSRは目に見えて利益が出るわけではありませんが、『困った時はここに行けば良い』というイメージを地域の方に持っていただきことで、来店目的につながり、当社としてもメリットになります。目先の利益を考えるのではなく、5年後、10年後に何か困ったときの「かかりつけ薬局」になることを目指しています。

● 苦労したことは何ですか

地域密着型の事業が始まった当初は、どこから手を付けたらいいのか分かりませんでした。まずは、各所で成功している事例を参考にして行うことから始めました。形ができる軌道に乗ってきたら、少し独自性を持たせて、「ドラッグストアだからできること」「管理栄養士がいるからできること」というように徐々に活動を転換してきました。

また、社内でCSR活動を理解してもらうことはとても

大切であり、苦労している点でもあります。最近は、社内向け広報誌で活動報告を行ったり、活動の際さまざまな部署に参加してもらうことで、社内におけるCSR活動の認知度は確実に上がってきています。

今後の展望について教えてください

今後は、より多くの人々に活動を知っていただくためにも、企業連携がとても重要だと思っています。最近は、(社福)聖隸福祉事業団さんと連携し、セミナー情報の広報に協力していただいている。

聖隸福祉事業団さんは、人々のより健康な生活をサポー

トする『クビオ for 聖隸』という会員制のサイトを持っています。なかなか認知度が上がらず、集客に苦労していましたが、連携によって健康に対する意識が高い方に情報を届けることができるようになり、集客につながっています。

企業ごとに、得意とする分野は違います。それらを合わせることで、地域社会に対して貢献できることは、必ず増えてくると思います。今後は、より多くの方が健康になるよう、地元に根ざしている企業間でさらに連携を深めていきたいと考えています。

活動風景



母親向けのベビーセミナー



健康セミナー



お料理教室



スポーツセミナー

取材協力

株式会社 杏林堂薬局（本社：浜松市中区板屋町）

『富める人にも、貧しい人にも、世の中のすべての人々に、分け隔てなく“美しく・健康で・幸せな人生”をおくるためのお手伝い(ご奉仕)をしよう!』。「業績」よりもむしろ「社会的な使命」を重視する『企業理念』を持ち続け、地域医療に貢献して行きます。



健康・医療ネットワーク推進室
ニュートリション事業 チームリーダー
内山貴雄さん
(管理栄養士 医薬品 登録販売者)

NPO×企業。 新しいCSR始まっています！

株式会社プランエコ(袋井市山名町3-3)は農産物直売所『とれたて俱楽部』(住所同)を運営する、地域密着型の企業です。週末はもとより、平日も一般客や、地元の新鮮野菜を買い付けに来る飲食店関係者などにぎわっています。

平成19年のオープン当初から、当時まだ珍しかったレジ袋の配布を行わないなど、環境配慮型の運営を行い、CSR活動として地域のマイバック運動にも一翼を担いました。オープン当初は、「サービスが悪い」という声もありましたが、今ではマイバックが地域に浸透し、買い物に来る人のはほとんどがマイバッグを持参してきます。

こういった活動が目に留まり、今年6月、静岡県西部で環境教育事業を展開する(一社)Will&Weelから、地産地消・プラスチック削減などの環境教育プログラムに、協働パートナーとして運営に参加していただけないかという企画提案がありました。ミーティングを重ね、双方にメリットのある、かつ地域の社会貢献につながるパートナーシップを模索し、『出前エコ教室』の協働実施をスタートしました。

『出前エコ教室』のプログラム内で、実際に店舗で行っている取り組みを紹介できることや、店舗と同じ服装で出向くことで親近感を持ってもらえるなど、地域のために活動しながら、自社を知ってもらう機会となっています。



『地域の企業として地域のためにできることはしたい』と話すとれたて俱楽部店長の村松さん。NPOなどとつながることで、頑張っている人たちを応援していくたい、と考えているそうです。新しい取り組みも積極的に受け入れ、地域とともに発展を続けています。

◎取材協力◎

株式会社プランエコ（袋井市山名町）

「地産地消応援団」をコンセプトに、平成19年に設立。消費者に新鮮と安心を届けるため、全ての野菜に生産者情報を記載している。長年行き場のなかった規格外も販売できる流通システムを確立し、地域の生産者と消費者をつなぐ橋渡し役となっている。

一般社団法人Will&Weel（浜松市東区有玉）

スタッフ全員が環境省認定の環境カウンセラー。企業向けのCSRコンサルティングの他、行政と連携した官民一体のワークショップを各地の小中学校等で展開している。

CSR活動(社会貢献活動)に取り組む 企業の表彰制度が浜松市に創設されました！

浜松市では今年度、CSR活動(企業の社会貢献活動)に積極的に取り組む企業の表彰制度を創設しました。

表彰対象は、右記の2部門。応募のあった取り組みは、受賞の有無に関わらず、市のホームページで紹介されます。また、選考の結果受賞者となった企業には、12月開催予定の表彰式で市長より表彰状が贈呈されます。

このような制度を通じ、優れた取り組みが広く周知されることで、豊かで活力ある市民主体の地域社会につながっていくことが期待されます！

※本年度の募集期間は終了しています。

☆制度の詳細は、浜松市ホームページをご覧下さい☆

1. 地域でキラリと輝く従業員部門

従業員がそれぞれの居住地域や企業等の所在地域で、地域活動に積極的に取り組んでいる企業等を対象
例えば…

地域活動のための休暇制度を設けており、従業員が制度を使い地域活動に参加しているなど

2. 企業で取り組む社会貢献部門

社会的課題の解決に資する活動に積極的に取り組んでいる企業等を対象
例えば…

災害発生時の地域の方々の避難スペースを確保したり、非常食を常備したりしているなど

報告

パートナーシップ・ミーティング2016を開催しました！



平成28年7月2日(土)、浜松市市民協働センターにて協働を推進するためのマッチングイベント『パートナーシップ・ミーティング2016』を開催し、61団体、216名の皆さんにご参加いただきました。市内外のNPO、企業、行政など多様な方々が交流する姿が見られ、熱気あふれる内容となりました！

メインイベントである、NPO・企業による協働事業の提案発表会『プレゼンテーションフォーラム』では、審査員と一般参加者による投票を経て『NPO法人CC緑化協会』の発表が最優秀賞を受賞。防犯・防災灯と企業広告を掛け合わせた公益性、実現性などが評価のポイントとなりました。

今回のイベントを通じ、業種や活動分野を超えた団体同士のネットワークが広がることで、より良いまちづくりにつながっていくことが期待されます。多くの皆さまのご参加、誠にありがとうございました！

最優秀賞	NPO法人静岡県CC緑化協会 『「日本初」犯罪を未然に防ぐスーパー防犯・防災灯の設置推進』
優秀賞	特定非営利活動法人新居まちネット 『「浜名湖おんぱく」から地域活動を始めてみませんか』
特別賞	特定非営利活動法人浜松国際総合事務所 『NPO活動を続けるために、ビジネス感覚を持って取り組もう!』

イベントの様子は
センターホームページ
で紹介しています。
成立した協働事業につ
も今後掲載予定です！

浜松市市民協働センター 検索

NPOニュース

特定非営利活動促進法の一部改正法案が成立。これから何が変わる？

平成28年6月1日、「特定非営利活動促進法の一部を改正する法律」が成立、6月7日に公布されました。この改正法は、公布の日から一年以内に施行されます。

改正のポイント(一部抜粋)

〔变更〕

- 1-1. 認証申請の添付書類の縦覧期間が2か月から1か月に短縮。また、インターネットによる公告が可能に。

1-3. 事

- 1-4. 「仮認定」NPO法人の名称を「特例認定」NPO法人に変更。
〔新設〕
2-1. 貸借対照表を公告しなければならない。併せて、NPO
法人の登記事項から「資産の総額」を削除

どんな準備が必要？

書類の作成・保管方法や公告の方法を見直したり、ポータルサイトで公表される情報を今一度確認してみるなど、準備していく必要があります。実際の運用開始までに内容が変更される場合があります。改正NPO法の詳細は「内閣府NPOホームページ」から閲覧できますので、隨時情報収集されることをおすすめします。

お気軽にご相談下さい。
市民協働センターでは、設立相談や運営・会計相談、助成金相談などを随时受付ています（無料）。毎月第2・4金曜日19時～21時は『金曜日相談会』も開催中！予約不要・無料ですので、お仕事帰りにお気軽にお越し下さい。

CHECK!

センター主催講座・イベントのお知らせ

詳細やお申込方法は、センターのホームページをご確認ください。
最新の講座情報も掲載しています。



←QRコードを読み取るとセンターのホームページにアクセスできます。

スキルアップ講座

『良い人間関係を築ける！ コミュニケーション講座』

NPOの仲間や職場の同僚との人間関係をより良くするには？組織の結束力を高めるには？「ピア・サポート」の手法を通してコミュニケーションスキルを学びます。

日 時 10/6、13、20、27
(10月毎週木曜日)
19:00～21:00

会 場 市内各協働センター
(各回会場が異なります。)

参加費 各回500円(資料代)

やまとまちの交流事業（中山間地域交流ネットワーク事業）

NPO法人はるの山の楽校

『体験交流プログラム運営補助』

浜松市内小・中学校を対象とした「体験交流プログラム」の運営補助してくださる方を募集します！

日時 ①9/14(水)～16(金)

②11/9(水)～11(金)

③11/29(火)～30(水)

会場 春野山の村(天竜区春野町)

NPO法人ひづるしい鎮玉

『鎮玉田んぼ応援団』

北区引佐町で田んぼオーナーの方々のサポートをしてくださる方を募集します！

日時 ①稻刈り10/8(土) 9時～12時

②収穫祭11/5(土) 10時～14時

会場 ひづるしい鎮玉 日比平農場(北区引佐町)

山里の食べ物屋さん「あい川」

『あい川秋の音楽会 ボランティア&出演者募集』

佐久間町の「あい川」で行なわれる秋の音楽会でイベントを支えてくれる方、ステージに出演してくれる方を募集します。

日時 ①10/9(日) 10時～15時

②11/20(日) 10時～15時

会場 あい川(天竜区佐久間町)

【問合せ・申込み】 浜松市市民協働センター ☎ 053-457-2616(9:00～21:30)

助成金情報

詳細や応募方法は、各サイトをご確認ください。

平成28年度ボランティア活動助成

- 主催 (公財)大和証券福祉財団
- 分野 保健・医療・福祉 ●締切 9/15

花王・みんなの森づくり活動助成

- 主催 花王株式会社/(公財)都市緑化機構
- 分野 環境保全 ●締切 10/14

2017年度助成(地域文化の振興)

- 主催 (公財)三菱UFJ信託地域文化財団
- 分野 文化振興 ●締切 11/30

2016年度国内助成プログラム

- 主催 (公財)トヨタ財団
- 分野 全分野 ●締切 9/30

第27回コメリ緑資金助成

- 主催 (公財)コメリ緑育成財団
- 分野 環境保全 ●締切 10/31

【賞】ふじのくに地域文化活動賞

- 主催 (公財)静岡県文化財団
- 分野 文化 ●締切 9/30

センターで
ほっと一息

手作り品のお店「チャレンジドショップ「わ」」

市民協働センターでのミーティングや活動の合間に、
おいしいお菓子とコーヒーでほっと一息つきませんか？

「チャレンジド(challenged)」とは、積極的に社会参加を果たそうとする障がいのある人を意味します。「わ」は、県下140の作業所で構成する静岡県作業所・わのシンボルで、人々の和みや共生社会の実現を表しています。

市内の作業所では、クッキー、おせんべい、パン、パウンドケーキ、卵、お茶、ポプリ、陶芸品、木工製品、縫製品や手作りノート、手すき葉書など、チャレンジドが心を込めて製品を作っています。どれも、純粋で安全な温かみ(pure・safe・warm)のある手作り品です。

市民協働センター1階では、クッキーや縫製品、陶芸品などを無人販売コーナーに置いています。他に、浜松市役所本庁内、保健所内などでも製品をお買い求めいただけます。

市民協働センター1階で販売中♪



コーヒー販売
始めました！

「わ」さんのお菓子と一緒に
いかがですか？

●コーヒーの販売は、浜松市市民協働センターが行なっています。



発行 浜松市市民協働センター

〒430-0929 浜松市中区中央1丁目13-3

TEL 053-457-2616 / FAX 053-457-2617